



早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター

第 18 回ふくしま学(楽)会・第 14 回 1F 地域塾・第 5 回福島再生塾

開催案内

早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンターは、「世代を越えて」「地域を越えて」「分野を越えて」世界の多様な人々と福島の復興と廃炉を共に語り、共に考え、「創造的復興＝社会イノベーション」を創出するための新たな知識創造を行う「対話の場」＝「学びの場」として、2018 年 1 月 28 日、第 1 回ふくしま学(楽)会を福島県広野町において開催しました。

今回の第 18 回ふくしま学(楽)会は、第 14 回 1F 地域塾および第 5 回福島再生塾との共同開催とし、「福島原子力災害とは何か？」をテーマに、2026 年 7 月 26 日(日) 13:00-17:30、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校・地域協働スペース(福島県広野町)＋オンライン(Zoom)で開催します。

今回の第 18 回ふくしま学(楽)会・第 14 回 1F 地域塾・第 5 回福島再生塾のテーマ「福島原子力災害とは何か？」は、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から 15 年余が経過する中で、今一度、福島の原子力災害とは何かを考えます。福島復興の中で「忘れられた地域」となってきた浪江町津島地区を対象に、福島再生塾が実施してきた住民参加型環境アセスメント事業の実績から「津島から福島原子力災害を考える」という基調報告を行い、国際的視点をふくめた多様な観点から「福島原子力災害とは何か？」を自由闊達に議論したいと考えています。

ふくしま学(楽)会は結論を求めないオープンエンドな「対話の場」＝「学びの場」です。ふくしま学(楽)会は復興政策と廃炉政策という厄介な社会課題を対象に、特定の結論を求めるのではなく、人類社会が経験したことのない福島原子力災害というトランス・サイエンス的課題を解決する革新的アイデアの発見(Idea Discovery)を重視し、社会イノベーションの形成へ繋がりたいと考えています。

2011 年 3 月 11 日から 15 年余が経過する中で、福島原子力災害の記憶と記録を将来世代に発展的に継承するため、今一度、「福島原子力災害とは何か?」「福島の教訓とは何か?」「福島から何を将来世代に伝えるのか?」を広く深く考えたいと思います。

第 18 回ふくしま学(楽)会は、「世代を越えて」「地域を越えて」「分野を越えて」、多くの皆さんと一緒に「福島を学ぶ場:Fukushima Learning Community」を創りたいと思います。

日本と世界の多くの皆さんの Fukushima Learning Community への参加を心より呼びかけます。

第 18 回ふくしま学(楽)会・第 14 回 1F 地域塾・第 5 回福島再生塾 「福島原子力災害とは何か?」

日時：2026 年 7 月 26 日(日) 13:00-17:30

会場：福島県立ふたば未来学園(福島県広野町) 地域協働スペース＋オンライン(傍聴のみ)

<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/plugin/searchs/search/79/6#frame-6>

連絡先：charlottelin7@toki.waseda.jp

参加申込みサイト：<https://forms.gle/nbARvYV1dUi2vgKo8>





プログラム：

総合司会：崎田裕子（1F 廃炉の先研究会・副代表、1F 地域塾・副塾頭、環境ジャーナリスト）

開会挨拶：13:00-13:20

小松和真（福島県広野町・町長）

山本育男（福島県富岡町・町長）

小野田弘士（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・研究科長、早稲田大学環境総合研究センター・所長）

加藤篤史（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・研究科長、早稲田大学アジア太平洋研究センター・所長）

太田隆明（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校・校長）

1. パネル・ディスカッション「福島原子力災害とは何か？」 13:20-15:10

司会：小磯匡大（1F 地域塾・副塾頭、福島県立ふたば未来学園高校・教諭）

基調報告：津島から福島の原子力災害を考える

林 誠二（福島再生塾・副塾頭、F-REI 地域環境共創ユニット・ユニットリーダー、国立環境研究所・福島地域協働研究拠点・研究グループ長）

パネル・ディスカッション

福島県立ふたば未来学園・高校生 2 名

KIM, Hakyung（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・修士 2 年）

早稲田大学・学生

今野秀則（浪江町津島地区行政区長・下津島、ふるさとを返せ津島原発訴訟団・団長）

佐々木やす子（浪江町津島地区・大昼）（予）

霜村真康（菩提院住職、未来会議、福島県いわき市）

辻 岳史（国立環境研究所・福島地域協働研究拠点・主任研究員）

古川竜也（株式会社ふたば）

井上 正（1F 廃炉の先研究会・副代表、1F 地域塾・副塾頭、電力中央研究所名誉シニアアドバイザー）

（休憩：15:10-15:20）

2. 小グループによる「対話の場」：15:20-16:30

（休憩：16:30-16:40）

3. 全体会：16:40-17:25

司会：森口祐一（1F 廃炉の先研究会・副代表、1F 地域塾・副塾頭、東京大学・名誉教授）（予）

閉会挨拶：17:25-17:30

松岡俊二（早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター・センター長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授）

*本事業は、福島イノベーション・コースト構想推進機構「2026 年度大学等の復興知を活用した地域共創人材育成・定着推進事業」により実施しています。

*「ふくしま学（楽）会」の名称は、首都圏などからの産業廃棄物の不法投棄から地域社会を再生した瀬戸内海の豊島において、豊島の教訓を次世代へ伝えるために、2007 年 4 月から住民、学生、研究者・専門家が開催してきた「豊島学（楽）会」に由来するものです。

